

国語科 系統表

学年領域	1年	2年	3年	4年	5年	6年	学年領域	7年	8年	9年	
A 話すこと・聞くこと	聞く	「すきなもの、なあに」 「きいて しらせよう」 「ともだちのこと、しらせよう」	しつもんしあって、くわしく考えよう 「あったらいいな、こんなもの」 大事なことをおとさずに話したり書いたりしよう 「ともだちを さがそう」	ききたいことを考えて、しつもんしよう 「もっと知りたい友だちのこと」	大事なことと落とさずに聞こう 「聞き取りメモのくふう」	話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう 「きいて、きいて、きいてみよう」	A 話すこと・聞くこと 対話・質問	話の内容をとらえて、自分の考えをまとめよう 「聞いて、考えを深めよう」	情報を的確に聞き取る	問いを立てながら聞く	評価しながら聞く
	話す	「わけを はなそう」	つたえたいことをきめて、はっぴょうしよう 「楽しかったよ、二年生」	つたえたいことを理由をあげて話そう 「わたしたちの学校じまん」	調べて分かったことを話そう 「調べて話そう、生活調査隊」	事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう 「提案しよう、言葉とわたしたち」		資料を使って、効果的なスピーチをしよう 「今、私は、ぼくは」	話の構成を工夫しよう 「好きなことをスピーチで紹介しよう」	魅力的な提案をしよう 「資料を示してプレゼンテーションをする」	説得力のある構成を考えよう 「スピーチで社会に思いを届けよう」
	話し合う	ふたりで かんがえよう 「これは、なんでしよう」	みんなで話をつなげよう 「そうだんについてください」	進行を考えながら話し合おう 「はんで意見をまとめよう」	役わりをいしきながら話し合おう 「クラスみんなで決めるには」	互いの立場を明確にして、話し合おう 「よりよい学校生活のために」		目的や条件に応じて、計画的に話し合おう 「みんなで楽しく過ごすために」	話題や展開を捉えて話し合おう 「グループ・ディスカッションをする」	立場を尊重して話し合おう 「討論で多角的に検討する」	話し合いを効果的に進める 合意形成に向けて話し合おう 「課題解決のために会議を開く」
	対話	ききたいな、ともだちのはなし	ことばで みちあまない	山小屋で三日間 すごすなら	あなたなら、どう言う	どちらを選びますか		いちばん大事なものは	聞き上手になろう 「質問で話を引き出す」 一年間の学びを振り返ろう 「要点をフリップにまとめ、発表する」	聞き上手になろう 「質問で思いや考えを引き出す」	聞き上手になろう 「質問で相手の思いに迫る」
B 書くこと	多様な文種	「どうぞ よろしく」(名前) 「ぶんをつくろう」(一文) 「おおきくなった」(観察記録) 「すきなものなあに」(二文) 「しらせたいな、見せたいな」(観察記録) 「まちがいをなおそう」(推敲)	思い出して書こう 「きょうのできごと」(日記) 「ていねいに観察して記録しよう」 「かんざつ名人になろう」(観察記録) 「思いをつたえる手紙を書こう」 「すてきなところをつたえよう」(手紙)	大事なこととを考えると、あんないの手紙を書こう 「おれの気持ちを伝えよう」(手紙) 考えたことを書き、読み合おう 「もしものときにそなえよう」(意見)	気持ちが伝わる手紙を書こう 「おれの気持ちを伝えよう」(手紙) 考えたことを書き、読み合おう 「もしものときにそなえよう」(意見)	読み手が納得する意見文を書こう 「あなたは、どう考える」(意見) 相手や目的を明確にして、すいせんする文章を書こう 「この本、おすすめします」(推敲)	書き表し方を工夫して、経験と考えを伝えよう 「大切にしたい言葉」(経験)	項目を立てて書こう 「案内文を書こう」 「故事成語を使って体験文を書こう」 構成や描写を工夫して書こう 「体験を基に随筆を書こう」 推敲:読み手の立場に立つ	表現を工夫して書こう 「手紙や電子メールを書こう」 「根拠の適切さを考えて書こう」 「意見文を書こう」 人物の特徴を捉えて論じよう 「魅力を効果的に伝えよう」 「鑑賞分を書こう」 推敲:表現の効果を考える	文章の種類を選んで書こう 「修学旅行気を編集する」 多角的に分析して書こう 「説得力のある批評文を書こう」 推敲:論理の展開を考える	
	報告等	「せつめいする文しょうをかこう」 「どう車ずかんをつくろう」(説明)	組み立てを考えて書き、知らせよう 「こんなもの、見つけたよ」(報告)	組み立てを考えて、ほうこくする文章を書こう 「仕事のくふう、みつけたよ」(報告)	事実を分かりやすいほうこくしよう 「新聞を作ろう」(報告)	調べたことを正確に報告しよう 「みんなが過ごしやすい町へ」(報告)	具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう 「私たちにできること」(提案)	一年間の学びを振り返ろう 「テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る」	国語の学びを振り返ろう 「テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る」	三年間の歩みを振り返ろう 「冊子にまとめて、発表会をする」	
	説明・解説	「きいて しらせよう」 「ともだちのこと、しらせよう」(紹介) 「てがみをかこう」 「てがみでしらせよう」(手紙) 「おもい出してかこう」 「いいこといっぱい、一年生」(体験報告)	せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう 「おもちゃの作り方をせつめいしよう」(指示)	れいの書かれたに気をつけて読み、それをいかして書こう 「食べ物のみみつ教えてください」(説明・報告)	中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう 「伝統工芸のよさを伝えよう」(説明・報告)	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 「グラフや表を用いて書こう」(説明・報告)	表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 「日本文化を発信しよう」(解説)	情報を整理して書こう 「わかりやすく説明する」 根拠を示して説明しよう 「資料を引用してレポートを書こう」 助言を自分の文章に生かそう 「作品の書評を」	情報を整理して書こう 「わかりやすく説明する」 根拠を示して説明しよう 「資料を引用してレポートを書こう」 助言を自分の文章に生かそう 「作品の書評を」	多様な方法で情報を集めよう 「職業ガイドを作る」	報道文を比較して読もう 情報を読み取って文章を書こう 「グラフを基に小論文を書こう」
	創作	「おもい出してかこう」 「いいこといっぱい、一年生」(体験報告)	まとまりに分けてお話を書こう 「お話のさしげになろう」(物語) 詩を作ろう 「見たこと、かんじたこと」(詩)	組み立てにそって物語を書こう 「たから島のぼうけん」(物語)	心の動きを言葉にして、詩を書こう 「感動を言葉に」(詩)	言葉をやすりすつて俳句を作ろう 「日常を十七音で」(俳句)	言葉を選んで短歌を作ろう 「たのしみは」(短歌)	詩を作ろう 別の人物の視点から文章を書き換えよう	自分流「枕草子」を書こう 短歌を作ろう 構成や展開を工夫して書こう 「『ある日の自分』の物語を書こう」	俳句を作って楽しもう 「古典の言葉を引用し、メッセージを送ろう」	
言語	文字	平仮名(濁、仮、長、拗音) 片仮名 助詞(は・を・へ)	かたかなで書くことば	ローマ字		日本語の表記	仮名の由来	「言葉の単位・文の組み立て・単語の分類・指示する語句と接続する語句・方言と共通語・さまざまな表現技法」	自立語・用言の活用・付属語・類義語・対義語・多義語・敬語・話し言葉と書き言葉	文法のもとめ・和語・漢語・外来語・慣用語・ことわざ・故事成語	
	文法	ぶんをつくろう(主・述) は・を・へをつかおう	主語と述語	こそあど言葉 修飾語	つなぎ言葉(接続する語句)	和語・漢語・外来語 敬語 複合語 方言と共通語	話し言葉と書き言葉 文の組み立て				
言語文化	古典	「おむすび ころりん」 「わらしべちやうじゃ」	「いなばの白うさぎ」 「せかい一の話」	俳句を楽しもう 短歌を楽しもう	短歌・俳句に親しもう	「竹取物語」「平家物語」 「徒然草」「おくのほそ道」「論語」「春暁」	「天地の文」(福沢諭吉)	「いろは歌」「今に生きる言葉」 「百人一首を味わう」	源氏と平氏・「平家物語」から敦盛の最後・短歌・俳句・俳諧	「論語」「和歌の世界」コキン 和歌集仮名序	
	文化等	たのしいな、ことばあそび ことばを たのしもう	ことばあそびをしよう ことばを楽しもう	ことわざ・故事成語	慣用語	古典芸能の世界 「落語」	古典芸能の世界 「狂言」「能」「歌舞伎」「人形浄瑠璃」	言葉としぐさの伝統芸能 「古典落語」 「季節のしおり」 「四季の行事と暦」	古典芸能の世界「能・狂言」 「古典落語」 「季節のしおり」 「四季の行事と暦」	古典芸能の世界「歌舞伎・浄瑠璃」 「季節のしおり」 和歌・短歌・俳句・漢詩・名文	
漢字	字形等	かん字のはなし にているかん字	同じ部分をもつかん字	へんとつり 漢字の音と訓	漢字の組み立て 漢字辞典の使い方	漢字の成り立ち	漢字の形と音・意味	漢字bの組み立てと部首 漢字の音訓 漢字の成り立ち 漢字に親しもう1～6	熟語の構成 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字の読み方 漢字の造語力 漢字の読み方 漢字に親しもう1～6	熟語の読み方 漢字の造語力 漢字の読み方 漢字に親しもう1～6	
	意味	かずとかんじ	なかまのことばとかん字	漢字の意味	熟語の意味 まちがえやすい漢字	同じ読み方の漢字	熟語の成り立ち 漢字を正しく使えるように				

学年領域	1年	2年	3年	4年	5年	6年	学年領域	7年	9年		
C 読むこと	「やくそく」 「おおきなかぶ」 「くじらぐも」	お話を読み、やくにわかれて音読しよう 「ふきのとう」	読んで、そうぞうしたことを伝え合おう 「きつつきの商売」	場面と場面をつなげて、考えたことを話そう 「白いぼうし」	登場人物どりの関わりをとらえ、感想を伝え合おう 「なまえつけてよ」	視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう 「輝り道」	C 読むこと	「朝のルー」 「野原はうたう」 解説「詩の世界」 「大阿蘇」 「さくらのはなびら」	「見えないだけ」 「月夜の浜辺」 「木」	「世界は美しいと」 俳句・解説「俳句の可能性」 「俳句を味わう」 「挨拶」ー原爆の写真によせて「初恋」 「私を束ねないで」	
	すきなところを見つけよう 「たぬきの系車」	お話を読んで紹介しよう 「スイミー」 そうぞうしたことを音読げきであらわそう「お手紙」 自分とくらべて、かんそうを書こう「わたしはおねえさん」	登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう 「まいごのかぎ」 組み立てをとらえて、民話をしようかいしよう 「三年とうげ」	場面の様子をらべて読み、感想を書こう 「一つの花」 登場人物の変化を中心に読み、物語を紹介しよう 「ブラタナスの木」				「シンジュン」 「大人になれなかった弟たちに…」 「星の花が降る頃に」 「少年の日の思い出」	「アイスプラネット」 「短歌に親しむ」 「短歌を味わう」 「盆土産」 「走れメロス」	「握手」 「故郷」	
					伝記を読んで、自分の生き方について考えよう 「やなせたかし」	伝統文化を楽しもう 「狂言 柿山伏」 「柿山伏について」			「言葉の力」 「守のない葉書」	「温かいスープ」	
	よんでかんじたことをはなそう 「ずっとずっと大すきだよ」	読んでかんじたことをつたえ合おう 「スーホの白い馬」	場面をくらべながら読み、感じたことをまとめよう 「ちいちゃんのかげおくり」 登場人物について、話し合おう 「モチモチの木」	気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう 「ごんぎつね」 読んで感じたことをまとめ、伝え合おう 「初雪のふる日」	物語の全体像をとらえ、考えたことを伝え合おう 「たずねごと」 すぐれた表現に着目して読み、物語のみよくをまとめよう「大造じいさんとガン」	作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう「やまなし」 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう「海の命」			「蓬莱の玉の枝」 ー竹取物語からー 「今に生きる言葉」	「枕草子」 扇の的ー「平家物語」ー 仁和寺にある法師「徒然草」漢詩の風景	学びて時に之を習ふー「論語」ー 君待つとー 「万葉・古今・新古今」ー 夏草ー「奥のほろ道」ー
	「くちばし」 よんでたしかめよう 「うみのかくれんぼ」	じゅんじょに気をつけて読もう 「たんぼほのちえ」 読んで考えたことを話そう 「どうぶつ園のじゅうい」	段落とその中心をとらえて読み、かんそうをつたえ合おう 「言葉で遊ぼう」 「こまを楽しむ」	筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう 「思いやりのデザイン」 「アップとルーズで伝える」	文章の要旨をとらえ、自分の考えを発表しよう 「見立てる」 「言葉の意味がわかること」	筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう 「笑うから楽しい」 「時計の時間と心の時間」			＜各段落の役割をおさえ、内容を正確に捉える＞ 「ダイコンは大きな根？」 「ちよっと立ち止まって」 「比喩で広がる言葉の世界」	＜文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む＞ 「クマゼミ増加の原因を探る」	＜論説の特性を踏まえ、文章の構成や論理の展開を評価する＞ 「作られた「物語」を超えて」
	せつめいする文しょうをよもう 「しどう車くらべ」	せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう 「馬のおもちゃの作り方」	れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう 「すがたをかえる大豆」	中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう 「世界にはこる和紙」	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう 「固有種が教えてくれること」	表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 「鳥獣戯画を読む」			＜文章の構成や展開の効果について根拠を明確にして考える＞ 「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ	＜自分の知識や考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する＞ 「モアイは語るー地球の未来」	＜文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について自分の意見を持つ＞ 「人工知能との未来」 「人間と人工知能と創造性」
	くらべて読もう 「どうぶつのおなべ」	たいじなこばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう 「おにごっこ」	読んで感想をもち、つたえ合おう 「ありの行列」	きょうみをもったことを中心に、しようかいしよう 「ウナギのなぞを追って」	事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう 「想像力のスイッチを入れよう」				＜文章の構成や展開の効果について根拠を明確にして考える＞ 「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ	＜文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について自分の意見を持つ＞ 「人工知能との未来」 「人間と人工知能と創造性」	
			ポスターを読もう	パンフレットを読もう	新聞を読もう	利用案内を読もう					
	「いいでんき」 「あさのおひさま」 「いちねんせい」のうた 「かたつむりのゆめ」 「はちみつ」のゆめ	「雨のうた」 「ねこのこ」 「おどのはなびら」 「はんたいこば」	「どきん」 「わたしと小鳥とすずと」 「夕日がせなかをおしてく」 詩のくふうを楽しもう 「かたつむり」「あした」 「ことばだいすき」「なみ」 「たいこ」「かいだん」	「春のうた」 「忘れもの」 「ぼくは川」 自分だけの詩集を作ろう 「まんげつ」「月」「つき」 「たいこ」「かいだん」	「かんがえるのっておもしろい」 「からたちの花」 生活の中で詩を楽しもう 「蛇」「するめ」「ーばんみじかい抒情詩」「土」 「ーぼんの木は」	「春の河」 「小景異情」 「せんねん まんねん」 詩を朗読してしようかいしよう 「ぼくぼく」「動物たちの恐ろしい夢の中に」「ぐくいす」 「生きる」			＜観点を明確にし、文章を比較し、その分析を基に公営や表現の効果を考える＞ 「君は『最後の晚餐』を知っているか」 「最後の晚餐の新しさ」	＜筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ＞ 「誰かの代わりに」	
	図書 読書 読書単元	とよしかんへいこう とよしかんとなかよし おかしなばなしをよもう 「おかいゆのおなべ」	図書館たんけん お気に入りの本をしようかいしよう 「ミリーのすてきなぼうし」	図書館たんていだん はじめて知ったことを知らせよう 「鳥になつたきょうりゅうの話」	図書館の達人になろう 事実にもとづいて書かれた本を読もう 「ランドセルは海をこえて」	図書館を使いこなそう 作家で広げるわたしたちの読書「カールライス」 私と本「森へ」		地域の施設を活用しよう	あともう少し、あともう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに見える光 君たちはどう生きるか たのしい制約	羊と鋼の森 エルサルバドルの少女へ スース 紛争地の看護師	星の王子様 日本に野生の像やサイハイいた頃 クモの巣でバイオリン
情報	じゅんじょ メモをとるとき 本での調べ方	全体と中心 引用するとき 科学読み物での調べ方	考えと例 要約するとき 百科事典での調べ方	原因と結果 目的に応じて引用するとき 統計資料の読み方	主張と事例 情報と情報をつなげて伝えるとき 調べた情報の用い方	情報	比較・分類 情報を集める・読み取る・引用する	思考の視覚化・具象化と抽象化 メディアの特徴を生かして情報を集めよう	情報の信頼性・具体化・抽象化 実用的な文章を読む 報道文を比較して読む		